

第2回病院連絡会結果の概要（豊能二次医療圏）①

1 第2回病院連絡会の参加状況と病院プラン等^{※1}の提出状況

【第2回豊能医療・病床懇話会資料 更新版】

| 保健所名 | 公立・公的・民間等 | 対象 ^{※2} 病院数 (A) | 出席病院数 (B) | | 病院プラン提出病院数 (C) | | 病院プラン調査未定出病院 (第2回病院連絡会開催時点) |
|------|-----------|--------------------------|-----------|-------------|----------------|-------------|--------------------------------|
| | | | 出席病院数 (B) | 参加率 (B)/(A) | 病院プラン提出病院数 (C) | 提出率 (C)/(A) | |
| 池田 | 公立 | 2 | 2 | 100.0% | 2 | 100.0% | ためなが温泉病院 |
| | 公的 | 0 | 0 | - | 0 | - | |
| | 民間等 | 10 | 8 | 80.0% | 9 | 90.0% | |
| | 合計 | 12 | 10 | 83.3% | 11 | 91.7% | |
| 吹田 | 公立 | 1 | 1 | 100.0% | 1 | 100.0% | |
| | 公的 | 5 | 5 | 100.0% | 5 | 100.0% | |
| | 民間等 | 8 | 8 | 100.0% | 8 | 100.0% | |
| | 合計 | 14 | 14 | 100.0% | 14 | 100.0% | |
| 豊中市 | 公立 | 1 | 1 | 100.0% | 1 | 100.0% | |
| | 公的 | 1 | 1 | 100.0% | 1 | 100.0% | |
| | 民間等 | 15 | 14 | 93.3% | 15 | 100.0% | |
| | 合計 | 17 | 16 | 94.1% | 17 | 100.0% | |
| 合計 | 公立 | 4 | 4 | 100.0% | 4 | 100.0% | |
| | 公的 | 6 | 6 | 100.0% | 6 | 100.0% | |
| | 民間等 | 33 | 30 | 90.9% | 32 | 97.0% | |
| | 合計 | 43 | 40 | 93.0% | 42 | 97.7% | |

※1: ※公的医療機関等2025プラン、新公立病院改革プランにかかる補足調査、将来に向けた病院のプランに関する調査

※2: 病院連絡会の対象は、病床機能報告対象病院

第2回病院連絡会結果の概要（豊能二次医療圏）②

2 将来のあるべき姿の到達度を測定する指標（案）・病床機能分化の方向性に対する見解

- ・将来のあるべき姿の到達度を測定する指標（案）については、病院連絡会において認識の共有を図った。
- ・回復期の病床機能の確保については、各保健所管内の病院だけでなく、豊能圏域全体での検討も重要。
- ・高度急性期の病床については、豊能圏域だけでなく、大阪府全体としての病床確保が必要であると意見があった。
- ・公立・公的病院と民間病院の役割分担を明確にし、公立・公的病院の抱える課題について議論があった。
- ・機能病床ごとのつなぎ（転院）など、病院群の中での患者の動きをダイナミックに面として捉えた体制づくりの検討が必要。

3 公立病院・公的病院・民間等病院（2025年に向けて病床機能転換の予定のある病院・非稼働病床を有する病院・プランに将来の病床機能、病床の運用状況の報告がない病院）の一覧（豊能二次医療圏）

| 区分 | 保健所 | 市町村 | 医療機関名 | 第2回病院連絡会出席状況 | 第2回病院連絡会でプラン内容を修正報告 | 許可病床数（一般・療養） | 2025年に向けた病床機能・病床数等の変更予定の有無 | | | | | | | | | | 非稼働病床について（一般病床・療養病床） | | 2025年に向けた病床数等の変更、非稼働病床を有する理由の説明に対しての、当該病院に対する他病院からの意見 | | | |
|-----|-------|-------|-------|--------------|---------------------|--------------|----------------------------|----------|----------|----------|---------|-----------|--------------|------------------|-------------------|------------------|----------------------|---------------------|--|---|---|---|
| | | | | | | | （転換数）高度急性期 | （転換数）急性期 | （転換数）回復期 | （転換数）慢性期 | （転換数）合計 | 介護医療院への転換 | 介護老人保健施設への転換 | その他介護施設・福祉施設への転換 | 第2回病院連絡会以後の転換予定病床 | 【プラン・連絡会での病院の説明】 | | 非稼働病床数（許可病床数-稼働病床数） | | 【プラン・連絡会での病院の説明】 病床を稼働していない理由（非稼働病床を有する理由） | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | 機能変更（予定）時期 | 具体的なプラン | | | | | |
| 池田1 | 1 公立 | 池田保健所 | 池田市 | 市立池田病院 | ○ | ○ | 364 | 6 | ▲6 | 0 | 0 | 0 | | | | | | 2017年10月・2019年 | <ul style="list-style-type: none"> ・急性期医療をメインにし、脳外科も診れるようにしていきたい。現在築20年なので、将来的には建て替えも検討したい。 ・2017年10月、急性期病床2床をICUに変更し、4床へ ・2019年度、急性期病床4床をHCUに変更予定（全病床数は変更なし） | 0 | - | - |
| 池田2 | 1 公立 | 池田保健所 | 箕面市 | 箕面市立病院 | ○ | | 317 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | | | | - | <ul style="list-style-type: none"> ・2024年度前半箕面市船場東へ移転建て替え後開院予定。 ・箕面市の人口動態の変化や年代別の入院患者数等の基礎調査を実施したら、病院としては急性期病床が不足するという結果になった。急性期病床増床は認められないので困っている。現段階では2025年に向けては現状維持としてプランは提出している。 | 0 | - | - |
| 池田3 | 3 民間等 | 池田保健所 | 池田市 | 池田回生病院 | ○ | ○ | 97 | 0 | 37 | 0 | 0 | 37 | | | | | | - | <ul style="list-style-type: none"> ・医師やその他の医療従事者の確保が難しく、十分に患者を診ることができないため。 ・今までは一般病床として努力してきたが、スタッフの数や地域の患者のニーズを考えると、今後は地域包括ケア病棟も視野に入れてやっていきたいと思っている。 | 37 | - | - |

※太字は、第2回豊能医療・病床懇話会開催後に提出のあった病院プランの内容

| 区分 1公立 2公的 3民間等 | 保健所 | 市町村 | 医療機関名 | 第2回病院連絡会出席状況 | 第2回病院連絡会プラン内容を修正報告 | 許可病床数(一般・療養) | 2025年に向けた病床機能・病床数等の変更予定の有無 | | | | | | | | | | 非稼働病床について (一般病床・療養病床) | | 2025年に向けた病床数等の変更、非稼働病床を有する理由の説明に対しての、当該病院に対する他病院からの意見 | | |
|--------------------------|-------|-----|--------------|--------------|--------------------|--------------|----------------------------|----------|----------|----------|---------|-----------|--------------|------------------|-------------------|------------------|--------------------------|--|---|---|---|
| | | | | | | | (転換数)高度急性期 | (転換数)急性期 | (転換数)回復期 | (転換数)慢性期 | (転換数)合計 | 介護医療院への転換 | 介護老人保健施設への転換 | その他介護施設・福祉施設への転換 | 第2回病院連絡会以後の転換予定病床 | 【プラン・連絡会での病院の説明】 | | 非稼働病床数(許可病床数-稼働病床数) | | 【プラン・連絡会での病院の説明】 病床を稼働していない理由(非稼働病床を有する理由) | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | 機能変更(予定)時期 | 具体的なプラン | | | | |
| 吹田1 | 吹田保健所 | 吹田市 | 市立吹田市民病院 | ○ | | 431 | 2 | ▲7 | 5 | 0 | 0 | | | | | ○ | 2018年12月 | ・現在の高度急性期2床(ICU)、急性期389床(一般病床)、回復期40床(地域包括ケア病床)を、新病院では高度急性期4床(ICU)、急性期382床(一般病床)、回復期45床(回復期リハビリテーション病床)とする。 | 0 | - | - |
| 吹田2 | 吹田保健所 | 吹田市 | 済生会吹田病院 | ○ | | 500 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | | | | - | ・今後、後方支援病院とのスムーズな連携等により病床利用率が低下傾向になった場合は、医療需要の推移を加味して病床数の変更を検討する。 | 0 | - | - |
| 吹田3 | 吹田保健所 | 吹田市 | 国立循環器病研究センター | ○ | | 612 | 7 | 0 | 0 | 0 | 7 | | | | | ○ | 2019年7月 | ・健都へ移転後は、一般病床数は612床から550床へ変更する。 | 69 | 平成22年9月30日に5西病棟を集約したため | - |
| 吹田4 | 吹田保健所 | 吹田市 | 大阪大学医学部附属病院 | ○ | | 1034 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | | | | - | ・兵庫県からの流入患者が全体の約15%あり、大阪府全体の高度急性期医療を担っている。今後も高度先端医療を提供する機能を最優先していく。 | 0 | - | - |
| 吹田5 | 吹田保健所 | 吹田市 | 済生会千里病院 | ○ | ○ | 343 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | | | | - | ・災害拠点病院、3次・2次救急告示病院、地域医療支援病院としての役割を担い、また、社会福祉法人として無料低額診療事業も運営する。 | 0 | - | - |
| 吹田6 | 吹田保健所 | 吹田市 | 大阪市立弘済院附属病院 | ○ | | 90 | 0 | 18 | 0 | 0 | 18 | | | | | ○ | 2024年 | ・BPSD、身体合併症患者等を受け入れるための増設を検討。 ・住吉市民病院跡地への移転案が提唱され検討中。 | 31 | 稼働していない病床があるが、医療職の確保に努めている。 | - |
| 吹田7 | 吹田保健所 | 吹田市 | 北摂三木病院(平海病院) | ○ | | 49 | 0 | 0 | 49 | ▲49 | 0 | | | | | ○ | 未定 | ・障害者施設等(慢性期)49床を地域包括ケア病棟入院料2(回復期)へ変更する予定。 | 0 | - | - |
| 吹田8 | 吹田保健所 | 吹田市 | 甲聖会記念病院 | ○ | | 116 | 0 | 0 | 30 | ▲30 | 0 | | | | | ○ | 2018年2月 | ・地域のニーズを満たすため、療養病棟入院基本料(慢性期)116床を86床に減床し、地域包括ケア病棟管理料1(回復期)30床に変更。 | 0 | - | - |
| 吹田9 | 吹田保健所 | 吹田市 | 大和病院 | ○ | | 175 | 0 | ▲50 | 46 | 0 | ▲4 | | | | | ○ | 2019年1月 | ・入院基本料15:1(急性期)を131床から101床へ減床し、地域包括ケア入院管理料1(回復期)を30床に変更。 ・軌道にのれば、1フロア50床を46床に減少し、全部を地域包括ケア病棟への変更を検討。 2025年向けに病床を150床ぐらいまで減床させ、急性期病床30~40床まで減らし、残りの病床は回復期、慢性期病床で運営していきたい。 | 0 | - | - |
| 吹田10 | 吹田保健所 | 吹田市 | 吹田徳洲会病院 | ○ | | 365 | 0 | 0 | 50 | ▲50 | 0 | | | | | ○ | 未定 | ・療養病棟入院基本料2(慢性期)50床を地域包括ケア病棟入院料1(回復期)50床へ変更。 ・在院日数が長期化しているため、在宅復帰を促進し、地域包括ケア病棟への転換を図りたい。 | 0 | - | - |

| 区分 1 公立 2 公的 3 民間等 | 保健所 | 市町村 | 医療機関名 | 第2回病院連絡会出席状況 | 第2回病院連絡会プラン内容を修正報告 | 許可病床数(一般・療養) | 2025年に向けた病床機能・病床数等の変更予定の有無 | | | | | | | 非稼働病床について(一般病床・療養病床) | | 2025年に向けた病床数等の変更、非稼働病床を有する理由の説明に対しての、当該病院に対する他病院からの意見 | | | | | | |
|-----------------------------|--------|-----|-----------|--------------|--------------------|--------------|----------------------------|----------|----------|----------|---------|-----------|--------------|----------------------|-------------------|---|------------|-----------------------------|--|---|---|---|
| | | | | | | | (転換数)高度急性期 | (転換数)急性期 | (転換数)回復期 | (転換数)慢性期 | (転換数)合計 | 介護医療院への転換 | 介護老人保健施設への転換 | その他介護施設・福祉施設への転換 | 第2回病院連絡会以後の転換予定病床 | | 機能変更(予定)時期 | 【プラン・連絡会での病院の説明】 具体的なプラン | 非稼働病床数(許可病床数-稼働病床数) | 【プラン・連絡会での病院の説明】 病床を稼働していない理由(非稼働病床を有する理由) | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 豊中1 1 公立 | 豊中市保健所 | 豊中市 | 市立豊中病院 | ○ | | 599 | 12 | ▲ 12 | 0 | 0 | 0 | | | | | | ○ | 2019年6月または7月 | ・一般病床から一部SCU病床への転換をする予定。 ・地域において筋ジストロフィー病床を担う。 ・呼吸器・神経筋疾患、脊椎、リウマチ等の高度な医療提供を行う。 | ・人員の不足により人間ドック病床休止中 | ・公立・公的病院と民間病院の役割分担の明確化が必要。 ・民間でできないところを公立・公的病院で対応してほしい。(たとえば高齢で合併症も多い患者など民間病院では対応できない重篤な患者の対応など)。 ・公立・公的機関がリハビリテーションを行う必要があるのか。 ・公立・公的病院として感染症治療(新興・再興感染症の患者の受け入れ機能)は優先すべきではないか。 | |
| 豊中2 2 公的 | 豊中市保健所 | 豊中市 | 刀根山病院 | ○ | ○ | 410 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | | | | | - | ・地域において筋ジストロフィー病床を担う。 ・呼吸器・神経筋疾患、脊椎、リウマチ等の高度な医療提供を行う。 | ・結核病床を除く非稼働病床26床については患者数の動向を勘案し検討する。 | ・公立・公的病院と民間病院の役割分担の明確化が必要。 ・民間でできないところを公立・公的病院で対応してほしい。(たとえば高齢で合併症も多い患者など民間病院では対応できない重篤な患者の対応など)。 ・公立・公的病院として感染症治療(新興・再興感染症の患者の受け入れ機能)は優先すべきではないか。 | |
| 豊中3 3 民間等 | 豊中市保健所 | 豊中市 | 豊中若葉会病院 | ○ | | 115 | 0 | ▲ 60 | 0 | 60 | 0 | | | | | | | 未定 | ・現在の病床機能は急性期と慢性期であるが、今後、地域包括ケア病床への変更を検討中。 | 0 | - | - |
| 豊中4 3 民間等 | 豊中市保健所 | 豊中市 | 関西メディカル病院 | ○ | ○ | 225 | 10* | 20* | 45* | 0 | 75* | | | | | | | 未定 | ・急性期を中心とした専門病院を目指している。 ・市の現状を踏まえ、急性期病棟の平均在院日数の短縮+急性期病床の増床を検討している。 ・急性期の基幹病院となるには300床以上の病床が必要と考えている。 ・特定集中治療室5床転換済み(2018年8月) | 0 | - | - |
| 豊中5 3 民間等 | 豊中市保健所 | 豊中市 | 千里山病院 | ○ | ○ | 59 | 0 | ▲ 30 | 30 | 0 | 0 | | | | | | | 未定 | ・地域ケア構想の一環として、地域ケア病棟入院基本料の基準取得予定。 ・急性期病院からのポストアキュート機能だけでなく、在宅医療のバックベッドとしてサブアキュート機能を担う。 | 0 | - | - |

※現在、病床過剰地域であるため新たな病床整備は出来ないが、病院の将来構想としてプランを提出いただいている(新たな病床整備について、認めるものではない) ※太字は、第2回豊能医療・病床懇話会開催後に提出のあった病院プランの内容

【参考】豊能二次医療圏全体の病床機能別検討状況

| | 高度急性期 | 急性期 | 回復期 | 慢性期 | 合計 |
|-----|-------|-------|-----|------|----|
| 公立 | 20 | ▲ 25 | 5 | 0 | 0 |
| 公的 | 7 | 18 | 0 | 0 | 25 |
| 民間等 | 0 | ▲ 103 | 205 | ▲ 69 | 33 |
| 全体 | 27 | ▲ 110 | 210 | ▲ 69 | 58 |

ただし、「※」の病床数については、現在、病床過剰地域であり、新たな病床は整備できないので、集計にカウントしていない。

第2回病院連絡会結果の概要（豊能二次医療圏）③

4 その他病院の説明や豊能二次医療圏の医療体制に対する意見

- ・レスパイト入院も診療報酬上難しいが、可能な限り応えていきたい。（慢性期病院）
- ・周囲に医療機関が少ない山間地域なので、将来的には遠隔治療にも力を入れていきたい。（慢性期病院）
- ・精神科のベッド数の削減目標と退院促進を厚生労働省が資料としても出しているが、地域の受け入れ体制は十分に整ってはいない。（精神科病院）

5 その他（2025年に向けて病床機能転換の予定のある病院・非稼働病床を有する病院・プランに将来の病床機能以外）病院に対する意見・質問と回答

| 区分 | 保健所 | 市町村 | 医療機関名 | 第2回病院連絡会出席状況 | 許可病床数（一般・療養） | その他病院からの説明 | 病院に対する質問 | 質問に対する回答 |
|-------|--------|-----|---------------|--------------|--------------|--|---|---|
| 3 民間等 | 池田保健所 | 箕面市 | 千里リハビリテーション病院 | ○ | 172 | <ul style="list-style-type: none"> ・介護医療院への転換も将来的には検討しているが、まだ、準備等は全くしていない。 ・入院していた患者の退院後支援として、退院後訪問リハビリテーション支援を実施。地域の通所リハ等との橋渡し役をしている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・介護医療院は看取りもあると思うが、どの様に考えているか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・将来的にはできればと考えているだけで、まだ具体的には考えていない。 |
| 3 民間等 | 池田保健所 | 箕面市 | ガラシア病院 | ○ | 104 | <ul style="list-style-type: none"> ・来年の春には建て替え予定。最終的に地域包括ケア入院医療管理料病床を含む回復期リハビリテーション病棟を53病床から58床に増床し、緩和ケア病棟51床から46床に減床する予定。 | - | - |
| 2 公的 | 豊中市保健所 | 豊中市 | 刀根山病院 | ○ | 結核病床 90 | <ul style="list-style-type: none"> ・結核病棟（90床）は平成30年度末をもって閉棟する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・精神科の病床について、国立病院機構や大学病院は、基準病床数を超えているにもかかわらず増床する動きがある。大阪医療センターは精神病床を4床設置した。空いている30床を精神科に転換する考えはあるのか。国立病院機構は許可されるなど、別に扱われるのか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・明確なプランはない。国立病院機構の本部と相談して決めることで、病院単体では決定できない。 |